

レポート

(審議内容の一部を掲載しました)

総務福祉文教

小学生が運動中にケガをしないように、この指導が行なわれているが、具体的な内容は

A 外で遊ぶ機会が少なくなっているためケガをする生徒が増えている。

北小で柔軟性を強化する体操と身体の仕組みや予防

指導を継続したところ、良い結果が出たため、南小でも柔軟体操で小学生のケガ

の減少を図るカリキュラムを採用することにした。

過去に作成した「健康マップ」は有効に利用されなかった。新マップの改善点はどこか

A 地域の実態に合せ、町内の史跡・名勝などを載せた新たなコースを作り、町

民の皆さんに親しみ楽しんでいただける内容にしたい。

特定検診率は20年度何%か。24年度目標65%の見込みはどうか

A 昨年度実績は41・5%で目標の45%は達成出来なかった。但し佐久地域では一番の成績であった。

広報や受診勧奨を強化して24年度には目標の65%を達成出来るよう努力していきたい。

職員構成の正規職員・嘱託職員・臨時職員の給与格差の実態は

A 09年4月度の平均賃金を参考とし開示すると

正規職員 約29万7千円

嘱託職員 約16万6千円

臨時職員 約9万円

但し臨時職員は勤務時間

が短いので比較対象にはならない。

正規職員と嘱託職員の給与格差は4月度で1.8倍である。



委員会

町民建設経済

最終焼却灰をフジコーポレーションに依頼した理由と費用は

A イーステージには、ゴミ焼却をトンあたり4万8千円で委託している。イーステージは、最終処分場がないため、井戸沢最終処分場の延命を図るとともに、フジコーポレーションの安定的、安全な処理方法を見て決定した。埋立費用はトンあたり2万3千円である。

鳥獣駆除の実態と対策は

A 平成20年度は、鹿が伍賀地区33頭、小沼地区5頭で計38頭、猪は伍賀1頭、小沼地区35頭で計36頭である。今年4月以降、伍賀地区で鹿12頭、猪2頭、小沼地区で猪7頭である。

対策として実施している電気柵の補助は昨年5件で20万円、今年は現在4件12万円。いずれも伍賀地区である。また国有林の緩衝帯はすでに4km整備したが、残り3kmを延長する。

浅間サンラインの県道格上への今後の影響は



A 御代田町分の距離は2kmである。サンラインが県道に格上げになると、町づくり交付金事業で実施予定の道路整備事業費1億円が節減となる。

塩野バイパスは集落内道路が町道となり、県道バイパスとしては不可能となった。真にバイパスが必要ならば町単独でも実施したい。



整備された緩衝帯